

## 事業成果報告書

1. 教育委員会名 : 南丹市教育委員会
2. 研究主題 : 学校統合を行う場合の教育環境充実事例研究
3. 研究タイトル : ふるさと「美山」の学びを通じた児童の確かな学力形成と地域の活性化に関する研究
4. 研究課題 : ・ 広大となる校区において、美山地域全体の豊かな教育資源を最大限に生かし、校区全体を学習キャンパスとした学習活動を展開するための新たな教育内容づくりや教材開発。  
・ 地域の文化・自然・歴史・産業・人材等の特色を生かし、地域とともに児童の学びを深める教育課程の開発、実施。
5. 事業の実績

(1) 調査研究のねらい

小学校再編により広大となった校区の教育資源を最大限生かした「美山学」を、小中9年間を見通して実践し、教科横断的な学習内容及びカリキュラムの整備や指導案・教材の蓄積によりその内容の充実を図り、児童の主体的・協働的で深い学びにより、確かな学力を育む。また、地域との協働により「美山学」の充実を図ることで、地域の歴史や伝統、文化等を、児童と地域住民が共に学び合うことを通して、教育文化活動の継承と推進を図り、ふるさと美山に対する愛着を深め、地域の活性化や発展に寄与する意欲につなげる。

(2) 調査研究の実施状況（平成30年度）

4月	
5月	
6月	「美山学」カリキュラムについて 授業スタイル・指導方法の探究・確認 「美山学」カリキュラムに基づく授業研究会 5年・4年・1年・2年・6年 第1回～5回 第1回学校運営協議会（本年度体制、学校経営方針の承認、年間計画策定） 第1回遠隔交流学習事業「海士町立福井小学校、海士小学校とのWebを介した交流学習」（5年・6年）
7月	「美山学」カリキュラムに基づく授業研究会(第6回) 3年 「美山学」カリキュラムに基づく授業研究会(第7回) こだま学級 第1回サテライト教室(旧鶴ヶ岡小学校)
8月	校区内フィールドワーク「各学年の『美山学』をめぐるろう」 第1回研究推進会議(ホームステイ受け入れ家庭選定について)
9月	第2回学校運営協議会(ホームステイ実施、研究発表会開催について) 美山ホームステイ(5年) 研究発表会に向けて(市教委連携)
10月	3年次研究発表会(10月12日) ・「美山学」カリキュラムに基づく授業公開(全学級) ・全校発表 ・研究発表・研究協議 第1回(通算5回)熟議「美山の子どもたちの未来を考えるワークショップ」 (テーマ:美山の子どもたちにどんな社会人になってほしいか)
11月	第2回遠隔交流学習「海士町立福井小学校、海士小学校とのWebを介した交流学習」(5年・6年)
12月	学習発表会(各学年の取組内容についてその成果発表) 第3回学校運営協議会(研究発表会総括について、中間評価について) 第3回遠隔交流学習「海士町立福井小学校、海士小学校とのWebを介した交流学習」(5年・6年)
1月	「美山学」実践事例報告まとめ
2月	第2回研究推進会議(第2回熟議に向けて・総括)

3月	第2回サテライト教室(旧大野小学校) 第4回遠隔交流学習「海士町立福井小学校、海士小学校とのWebを介した交流学習」(5年・6年) 31年度「美山学」関連事項 活動計画 作成(サテライト等も含む) 31年度各学年「美山学」単元計画作成 第2回(通算6回)熟議「美山の子どもの未来を考えるワークショップ」 テーマ:地域の力を子どもたちの教育にどう生かすか ～美山の魅力を語り合おう～
----	---

## 6. 事業の成果

### (1) 研究課題に応じて設定した具体的目標に対する達成状況

<p>これまで美山小学校で実施してきた熟議を美山中学校に会場を移して、美山まちづくり委員、学校運営協議会委員、行政関係者、大学生、小・中学校の保護者・教職員等過去最高の60名の参加者を得て、幼児から高校生も含め美山で育つ子どもへの願いや地域・大人にできることをともに考え、当事者意識の高まりと具体的な動き作りの必要性に発展する兆しが見え始めた。</p>
<p>閉校後の旧小学校を会場に実施するサテライト教室は二巡目に入り、各地域の教育資源を活かした美山学カリキュラムに基づいて実施できた。地域の研究者を講師に迎え実施し、物資のみならず文化が伝播した歴史等に興味を持つ地域住民とともに、児童が学びを深めることができた。</p>
<p>昨年度から始めた第5学年のホームステイは、受け入れ家庭が広がり、児童が様々な体験を通して、地域理解を深めることができた。また、受け入れ先家庭との心の交流を通して、児童は、地域から見守られていることを実感し、児童のコミュニケーション力の高まりや受け入れ家庭を含めた住民への愛着につながっている。昨年度に、ホームステイした6年生が、今も受け入れ家庭と交流を続けている例も見られる。</p>
<p>島根県隠岐郡海士町立海士小学校・福井小学校の5・6年生の児童と美山小学校の5・6年生の児童が4回のWeb交流を通して、地域の紹介や総合的な学習の時間の内容等を交流した。カメラの先の相手にわかりやすく伝える工夫や円滑にコミュニケーションを図る力の高まりが見られた。昨年度、Web交流を体験した中学1年生は、互いの希望により中学校入学後も交流を継続している。</p>
<p>各学年の「美山学」を通して、児童の地域への関心と愛着の高まりが児童アンケートの地域への誇りや関心の項目で100%に近づく大きな伸びを示した。また、保護者や地域の方へのアンケートにおいても、地域への愛着と関心の高まりが評価された結果となった。あわせて、美山学に関わった多くの地域住民が充実感をもって取り組んでいることがわかる。</p>

### (2) 成果物等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度「研究紀要」</li> <li>・3年次研究報告(含 美山学だより10・11号・特別号)</li> <li>・「美山学」リーフレット(30年度版)</li> <li>・成果物を収めたDVD</li> </ul>
---

### (3) 今後の取組予定

<ul style="list-style-type: none"> <li>・サテライト教室、ホームステイ等、地域と協働で進めた「美山学」を今後は学校運営協議会を核としてさらに地域と協働で取り組み、学校、地域双方に有益な取組を推進する。</li> <li>・美山中学校の学校評議員会と本校の学校運営協議会の共同開催により、地域の子どもとして全ての年代の子どもを育てるといった地域の土壌作りをする。</li> </ul>
--